

間の文化

〔教科書 20 ページ〕

3 年 組 番

問 1 20 ページ 1 行め「いくつかの意味がある」とありますが、筆者はこの文章で「間」ということばについて、いくつの意味を示していますか。

〔 〕

問 2 20 ページ 2 行め「まず一つは」とありますが、「まず一つは」から始まる話題についての説明は第何段落まで書かれていますか。

第 〔 〕 段落

問 3 20 ページ 7 行め「壁というものがない」とありますが、ここは「壁がない」と書かれていたとしても意味は通じます。筆者はなぜ「というもの」ということばを挟んだのだと考えられますか。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

〔 〕

ア 日本の壁にも多くの種類があり、壁について論を進める前に壁の種類について一度整理する必要があると考えたから。

イ 筆者が想像している壁と読者が想像している壁は違うものかもしれないので、イメージを統一させる必要があると考えたから。

ウ 壁という日頃あたりまえのように接している事物について、その役割や性質をここでもう一度よく考える必要があると考えたから。

エ 壁ということばは「心の壁」のように比喩的に用いられることがあり、この文中での使われ方を確認しておく必要があると考えたから。

問4 20ページ10行め「よくわかる」とありますが、文中における「よくわかる」の意味を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 難易度の低い
- イ つじつまの合う
- ウ 誰にでも知られている
- エ 明らかにされている

〔 〕

問5 第三段落で筆者は、対比の手法を用いることによって物事の特徴を明確に示そうとしている。日本の家と対比されているものの説明が書かれている一文の最初の五字を答えなさい。

〔 〕

問6 21ページ6行め「重厚」とありますが、この対義語を漢字二字で答えなさい。(※語いの辞書的な意味を問う問題)

〔 〕

問7 21ページ7行め「はかなさ」とありますが、「はかなさ」とは何のどのような様子を説明していますか。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

〔 〕

- ア 日本の障子やふすまや戸の、容易に設置が可能で便利な様子。
- イ 日本の障子やふすまや戸の、見た目に粗末でみずぼらしい様子。
- ウ 日本の障子やふすまや戸の、薄くて頼りなく見える様子。
- エ 日本の障子やふすまや戸の、機能性が低く使い物にならない様子。

問8 21ページ13行め「段」について、文中における「段」と同じ意味で使われている「段」を含むものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 文章を三つの段に分ける。
- イ 彼は寝台車の上の段にいる。
- ウ 居間と食堂の境に段をつける。
- エ いざという段になって逃げ出す。

問9 21ページ15行め「自由自在」について、「自由自在」と同じ構成の四字熟語を次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 正々堂々 イ 右往左往 ウ 中途半端
- エ 感謝感激 オ 東西南北 カ 自画自賛
- キ 七転八倒 ク 老若男女 ケ 日進月歩

問10 この文章の第四段落と第五段落の関係についての説明として適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 第四段落では日本の建具の特徴が書かれているが、第五段落ではその具体的な使われ方を示すことで、特徴の利点を説明している。
- イ 第四段落では日本の建具の使用法の一つが書かれているが、第五段落では別の使用法を紹介することで、文化の厚みを際立たせている。
- ウ 第四段落では日本の建具の過去の使われ方が書かれているが、第五段落では現在の使用法を紹介することで、文化の違いを強調している。
- エ 第四段落では日本の建具の欠点が書かれているが、第五段落ではそれを補ってあまりある利点を示すことで、二つの側面を公平に扱っている。

問11 21ページ17め「次に」とありますが、「次に」から始まる話題についての説明は第何段落まで書かれていますか。

第〔 〕段落

問12 22ページ6行め「衝動に駆られている」とありますが、次の中からこのでの「衝動に駆られる」と似た心理の状況を表すものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 恐怖感 イ 切迫感 ウ 義務感 エ 躍動感

問13 22ページ8行め「それにひきかえ」について、「それ」が指し示す内容を十五字以上二十字以内で、自分のことばで答えなさい。なお、文末は「……こと。」で終わらせること。

問14 22ページ10行め「その音の絶え間では松林を吹く風の音がふとよぎることもあれば、谷川のせせらぎが聞こえてくることもあるだろう。」とありますが、これはどのような意味ですか。一つ選び、記号で答えなさい。

〔 〕

ア 聴く人たちは、音曲の音の絶え間に、曲から連想する風や川のせせらぎなどの事物を頭の中で思い描くという意味。

イ 聴く人たちは、音曲の音の絶え間に、演奏家が奏でる風の音や川のせせらぎなどの自然の風物に似せた音を楽しめるという意味。

ウ 聴く人たちは、音曲の音の絶え間に、演奏が行われている場で自然に起こる風の音や川のせせらぎなどの音が耳に入るという意味。

エ 聴く人たちは、音曲の音の絶え間に、緊張を緩め待ち時間を短く感じさせる

問15 ために流れる風の音や川のせせらぎなどの音を耳にするという意味。
22ページ13行め「やおら」とありますが、「やおら」の意味の説明として正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア いきなり
- イ ゆっくりと
- ウ やわらかに
- エ 思いがけず

〔 〕

問16 22ページ17行めからは「心理的な間」についての説明が始まりますが、この説明は第何段落まで書かれていますか。

第〔 〕段落

問17 この文章の第十一段落の役割についての説明として適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

〔 〕

- ア 「遠慮」ということばの意味を例にして、中国人のものの考え方との違いを対比的に示すことで、日本人独特のものの考え方を説明する役割。
- イ 「遠慮」ということばが生まれたのが中国であることや、中国における意味を示すことで、西洋だけでなく中国に関する知識をも説明する役割。
- ウ 「遠慮」ということばが中国では「深く考えをめぐらす」という意味だったことを示すことで、中国におけるものの考え方の特徴を説明する役割。
- エ 「遠慮」ということばが生まれた中国における意味を示すことで、日本では「遠慮」ということばが誤った意味で使われていることを説明する役割。

問18 23ページ13行め「こうして日本人は生活や芸術や人間関係のあらゆる分野で間を使いこなしながら暮らしている。」とありますが、日本人は「生活」、「芸術」、「人間関係」のそれぞれの分野でどのような間を使っていると文中では書かれているか。「生活」、「芸術」、「人間関係」のそれぞれについて五字以内で答えなさい。

「生活」 〓 〓

「芸術」 〓 〓

「人間関係」 〓 〓

問19 24ページ1行めでは、これまでの文章の展開を踏まえた上で、「では、この間は日本人の生活や文化の中でどのようなはたらきをしているのだろうか。」という新たな問題提示が行われている。これについての筆者の考えはどのようなものか。「……はたらき」ということばにつながるように文中から十字以内で抜き出しなさい。なお、句読点や記号なども字数に含める。

〔 〕

問20 筆者の論理の展開の仕方についての説明として適切でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

〔 〕

ア 「間の意味」を説明する際には対比を多く用いることによって違いや特徴を鮮明にし、読者の理解を促している。

イ 「間」についての三つの意味の部分では一つ一つの意味について説明する文量に著しい差がなく、バランスが取れている。

ウ 「間」という、読者にとってなじみが薄い話題に無理なく導いていくために会話体を多用するなど、文体の工夫が見られる。

エ 「間の意味」についての大きな説明をし終えた段階で、それを前提とした新たな問題提示をするというように、重層的な論の展開が行われている。

★問21 筆者は「空間的な間」についての説明の部分で、「西洋の個人主義はこのような個室で組み立てられた家に住んできたからこそ生まれた」と書いています。このことを日本に置きかえれば、「日本の集団主義はこのような壁のない家に住んできたからこそ生まれた」とも言えそうです。

あなたは右のような、家の壁とその国や地域の人間性を結びつける考えに納得しますか、納得しませんか。あなたの考えとその理由を、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

条件1 「納得する」と「納得しない」のどちらかを選ぶこと。

条件2 理由は具体的に書くこと。

条件3 八十字以上、百字以内で書くこと。

〔納得

〕

★問22 筆者は「間の使い方」について、「間の使い方はこの国の最も基本的な「掟」であって、日本文化はまさに「間の文化」ということができるだろう。」と書いています。

あなたはこの文章を読んで、「間の使い方」を「掟」として常に守るべきだと考えますか。それとも破ってよいものと考えますか。あなたの考えとその理由を、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

条件1 「常に守るべき」「破ってもよい」のどちらかを選ぶこと。

条件2 理由は具体的に書くこと。

条件3 八十字以上、百字以内で書くこと。

〔 〕